

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 岡本 巧
幹事 神野 公秀
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手に
(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

第2672回例会プログラム

[当年度=32回目; 当月=3週目]

2010年(平成22年) 4月19日(月)

1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………それでごそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 国際奉仕の報告
……………(財)オイスカ・タイ・バンコク事務所
春日 智実 様
9. 職業表彰(職業奉仕委員会)
……………笛吹 妙子 様・萩野美佐子 様
10. 幹事報告
11. 出席報告
※第3四半期皆出席表彰(出席委員会)
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(4/27) ……観劇家族例会(親睦活動委員会)
17:00~刈谷市総合文化センター
※4月26日(月)の例会変更分です。
(5/3) ……休会(法定休日)

2. クラブフォーラム……………〈雑誌委員会〉

- 13:00 卓話 「政治の底流を読む」
講師 株式会社テレビ東京
上席執行役員 岡崎 守恭 様
(紹介者 水越 彌生 会員)

15. 謝辞
16. 点鐘……………〈会長〉
17. 閉会宣言

13:30 18. 散会

ゲ ス ト

- (財)オイスカ・タイ・バンコク事務所
春日 智実 様
(財)オイスカ中部日本研修センター
副所長 小杉雄一郎 様
(財)オイスカ愛知県支部
碧南・高浜・刈谷地区担当 稲村 渉一 様
刈谷市交通指導員 笛吹 妙子 様
" 萩野美佐子 様
刈谷市役所 加藤 正樹 様

出 席

会員総数 92名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 83名
欠席 9名 出席率 89.16%
前々回(4/5)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 4月15日、ザ・トラディションゴルフクラブにて
4月度ゴルフ例会が開催され、大竹憲治会員が優勝
されました。尚、3Cコンペは盛田豊一会員が優勝
されました。

幹 事 報 告

- 1) 次週4月27日は観劇家族例会となります。尚、服
装ですが、ネクタイなしの観劇に相応しい格好でお
願い致します。
2) 本日例会終了後、第11回理事会を事務局にて開催
致します。関係の皆様のご出席をよろしくお願い致
します。

委員会報告

ロータリー財団委員会

チリ大地震の義援金、お願いします。

会長あいさつ

岡本 巧



会長あいさつにかえて、(株)オイスカ・タイ・バンコク事務所 春日智実様より事業報告をいただきます。



職業表彰



刈谷市交通指導員 笛吹 妙子様・萩野美佐子様

クラブフォーラム

卓話

「政治の底流を読む」

株式会社テレビ東京

上席執行役員 岡崎 守恭様



日本の出生率は世界一と言ったら、少子高齢化がこれだけ叫ばれているのに、そんなはずはないとおもわれるだろう。その通り。ただしこれは総理大臣の出生率の話だ。たとえば米国の場合、大統領になるとほとんどが2期の任期を全うするので、8

年に1人の割合でトップリーダーが誕生している。これに対し日本は何とこの60年で27人もの総理大臣が出現している。

これは結構、よく知られた話だが、実は生存率も日本は世界一なのだ。過去に最高権力者だった人がどのくらい健在か。米国は4人、英国は3人、フランスは2人、ロシアも2人、中国は1人だけだ。日本は10人。首相経験者だけで野球チームができる。歌手1年、総理2年の使い捨てという言葉があるが、こんなことがいいはずがない。やっと民主党政権になって鳩山由紀夫首相が誕生、この不名誉な記録に終止符を打つはずだった。

ところがこれも怪しくなってきたのはご承知の通りだ。「永田町の謎の鳥」というジョークがネット上に蔓延している。代表的なのは中国から見るとカモに見えるが、米国から見ると臆病なチキン。有権者からはサギに見えるが、小沢幹事長の前ではオウムになる。しかし自分はハトだと思っており、本当は日本のガンなのではないかというものだ。

政権交代であれだけ期待が高まったのに、何やら日本の政治は小さな前進、大きな後退になってしまったようだ。いわゆる仕分けなどで、小さなムダを省いているが、一方で大きなムダを作っている。始発駅であるはずの政権交代が終着駅になってしまった印象だ。

響いているのは「政治とカネ」はもちろんだが、それ以上に①小沢氏主導の露骨な利益誘導政治②何事も決められない鳩山氏の指導力欠如③ものを言えない民主党議員のふがいなさ——がボディブローのように効いてきた。

マクロ政策のコンセプトがないことも痛い。日本の税収は30兆円台しかないのに、こども手当という新しい一つだけの政策でその5兆5千億円も使ってしまうバランス感覚のなさ。「命を守る」と言うけれど、防衛費の4兆8千億円より大きい金額なのだ。「2000年問題」、「2007年問題」は乗り切ってきたが、間もなく「2012年問題」の足音が聞こえてくる。いわゆる団塊の世代が65歳になって年金を一斉に受給するようになるのに、その財源を考えようもしない。

民主党が今度の参院選で改選を迎えるのは53議席。これを60議席に増やせば参院の単独過半数を制することができる。1年前は間違いないと思われてきたが、今は絶望的だろう。ただ自民党も優れた指導者と指導理念がとにもないため、復活の気配がない。一党優位体制の担い手としての大自民党は既に死んだと言っている。

このためしばらくはリシャッフルの時代が続くだろう。政権交代の次は政界再編であり、小沢氏も次の照準をここに合わせていることは間違いない。新党の林立もこれを見据えてのことだ。

さてどんなリーダーが出てくるか。今の永田町を眺め渡すと、情けなくもなってくるが、幕末の儒学者である佐藤一斎の「有りて無きものは人なり、無くして有るものもまた人なり」という言葉に希望を託したい。

地区協議会



健康診断



検診風景

4月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成22年 4月15日(木)

於：ザ・トラディションゴルフクラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	大竹 憲治	90	16	74
2位	盛田 豊一	76	4	72
3位	加藤 恒治	83	7	76
B B	橋本 恭典	106	10	96

